



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要						
建物名称	(仮称)株式会社トヨタユーザーゼック 静岡サテライト	BEE	0.8	BEEランク	B-	★★

2. 重点項目への取組み度					
重点項目	得点*/満点	取組み度	評価		
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	2.8 /5		がんばろう		
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.9 /5		がんばろう		
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.8 /5		がんばろう		
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.0 /5		がんばろう		
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上	ふつう 3 点以上	がんばろう 3 点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目	
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。			
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)		得点	2.8
<ul style="list-style-type: none"> ■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) <ul style="list-style-type: none"> ①ダブルスキンの採用による開口部の温熱環境の向上。 ②ライトシェルフの採用。 ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) <ul style="list-style-type: none"> ⑤敷地内既存大景木の建物廻り再配置により外構緑地指数50%以上を確保した。 ⑥緑地の緑が連続するような外構植栽計画を行った。 ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) <ul style="list-style-type: none"> ⑦ダブルスキンによる高断熱化。 ⑧自然通風、ライトシェルフによる自然エネルギーの利用。 ⑨LED照明の採用。高効率空調機の導入。 ⑩BEMSの導入によるエネルギー管理。 ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) <ul style="list-style-type: none"> ⑪雨水利用設備の導入による雨水の有効利用。 ⑫地下躯体部分における高炉セメントの採用。 ⑬不活性ガス(CO2)消火設備の導入。 	Q-1 2 2.1 2.12 ① Q-1 3 3.1 3.13 ② 3.2 3.21 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④	① 外皮性能 ② 昼光利用設備 ③ 昼光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ④ 主要設備機器の更新必要間隔	
	<ul style="list-style-type: none"> ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) <ul style="list-style-type: none"> ⑦ダブルスキンによる高断熱化。 ⑧自然通風、ライトシェルフによる自然エネルギーの利用。 ⑨LED照明の採用。高効率空調機の導入。 ⑩BEMSの導入によるエネルギー管理。 ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) <ul style="list-style-type: none"> ⑪雨水利用設備の導入による雨水の有効利用。 ⑫地下躯体部分における高炉セメントの採用。 ⑬不活性ガス(CO2)消火設備の導入。 	Q-3 1 3 3.2	⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ 敷地内温熱環境の向上
	<ul style="list-style-type: none"> ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) <ul style="list-style-type: none"> ⑦ダブルスキンによる高断熱化。 ⑧自然通風、ライトシェルフによる自然エネルギーの利用。 ⑨LED照明の採用。高効率空調機の導入。 ⑩BEMSの導入によるエネルギー管理。 ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) <ul style="list-style-type: none"> ⑪雨水利用設備の導入による雨水の有効利用。 ⑫地下躯体部分における高炉セメントの採用。 ⑬不活性ガス(CO2)消火設備の導入。 	LR-1 1 2 3 4 4.1 4.2	⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用率 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑩ 運用管理体制
	<ul style="list-style-type: none"> ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) <ul style="list-style-type: none"> ⑪雨水利用設備の導入による雨水の有効利用。 ⑫地下躯体部分における高炉セメントの採用。 ⑬不活性ガス(CO2)消火設備の導入。 ■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) <ul style="list-style-type: none"> ⑭省エネルギー対策と、高炉セメントの採用。 ⑮外構の全舗装面に保水性ブロックを採用した。主風向に対する見付面積比を50%以下とした。 	LR-2 1 1.1 1.2 1.2.1 1.2.2 ⑪ 2 2.1 2.2 ⑫ 2.3 ⑫ 2.4 ⑫ 2.5 ⑫ 2.6 ⑫ 3 3.1 3.2 3.2.1 3.2.2 ⑬ 3.2.3 ⑬	⑪ 節水 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑫ 材料使用量の削減 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 ⑬ 消火剤 ⑬ 断熱材 ⑬ 冷媒
"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)		得点	2.9
<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) <ul style="list-style-type: none"> ⑯制振装置の採用。 	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 2.1.2 ⑯ 2.4 2.4.1 ⑰ 2.4.2 ⑰ 2.4.3 ⑰ 2.4.4 ⑰ 2.4.5 ⑰	⑯ 耐震性 ⑯ 免震・制振性能 ⑰ 空調・換気設備 ⑰ 給排水・衛生設備 ⑰ 電気設備 ⑰ 機械・配管支持方法 ⑰ 通信・情報設備	
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)		得点	2.8
<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑯機能性・使いやすさ/⑱心理性・快適性/⑲空間のゆとり) <ul style="list-style-type: none"> ⑱バリアフリー法誘導基準相当の計画とした。 ■室外環境(敷地内)対策 (⑳地域性・アメニティへの配慮) <ul style="list-style-type: none"> ⑳街並みに配慮し、木材等自然素材を活用した外装とした。 	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱ 3 3.1 3.1.1 ⑲ 3.1.2 ⑲ Q-3 3 3.1 ⑳	⑱ ユニバーサルデザイン計画 ⑲ 階高のゆとり ⑲ 空間の形状・自由さ ⑳ 地域性への配慮、快適性の向上	
"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)		得点	2.0
<ul style="list-style-type: none"> ■室外環境(敷地内)対策 (⑳生物環境の保全と創出/㉑まちなみ・景観への配慮/㉒敷地内温熱環境の向上) <ul style="list-style-type: none"> ⑳敷地内既存大景木の建物廻り再配置により外構緑地指数50%以上を確保した。 ㉑緑地の緑が連続するような外構植栽計画を行った。 ■敷地外環境対策 (⑳持続可能な森林から産出された木材/㉓温熱環境悪化の改善) <ul style="list-style-type: none"> ㉓静岡県産材の使用率が0%。 ㉓外構の全舗装面に保水性ブロックを採用した。主風向に対する見付面積比を50%以下とした。 	Q-3 1 2 3 3.2 LR-2 2 2.5 LR-3 2 2.2	⑳ 生物環境の保全と創出 ㉑ まちなみ景観への配慮 ㉒ 敷地内温熱環境の向上 ㉓ 持続可能な森林から産出された木材 ㉓ 温熱環境悪化の改善	

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)株式会社トヨタユーザーズ 静岡	階数	地上2F
建設地	静岡県袋井市堀越字堀切723番2 他	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	32 人
地域区分	7地域	年間使用時間	2,880 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年2月 0.0	評価の実施日	2021年5月12日
敷地面積	39,355 m ²	作成者	中日設計 清谷太一
建築面積	1,776 m ²	確認日	
延床面積	2,543 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.7

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合 これはCASBEE静岡(2016年版)による評価結果です。		その他
Q1 室内環境 F☆☆☆☆の建築材料を全面的に採用し健全な室内環境を計画	Q2 サービス性能 入口から案内カウンターが分かりやすい動線とした	Q3 室外環境(敷地内) 見通しのきく外構計画とすることで、使用者の安全性を確保した。
LR1 エネルギー ODPが0の冷媒を使用	LR2 資源・マテリアル 一部床材に耐久性の高いタイルを使用することで、床材の塗り替え等のコストを低減	LR3 敷地外環境 照明をタイマー制御で点灯する計画とし敷地周辺への光害に配慮している

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい